



平成 23 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社横河ブリッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 吉 田 明
(コード番号 5911 東証第 1 部)
問合せ先 経 理 部 長 宮 本 英 典
(TEL 03-3453-4116)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,000	950	1,000	480	10.79
今回修正予想 (B)	32,600	870	930	240	5.40
増 減 額 (B - A)	△9,400	△80	△70	△240	—
増 減 率 (%)	△ 22.4	△8.4	△7.0	△50.0	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	36,882	1,764	2,391	1,012	22.28

2. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	82,000	1,200	1,270	600	13.53
今回修正予想 (B)	77,000	1,200	1,270	600	13.53
増 減 額 (B - A)	△5,000	—	—	—	—
増 減 率 (%)	△ 6.1	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 23 年 3 月期)	75,462	2,200	2,881	1,147	25.32

3. 修正の理由

橋梁事業及び建築環境事業の月次生産量は増加傾向にありますものの、小幅な伸長にとどまり第 1 四半期 (4 月 1 日～6 月 30 日) での遅れを取り戻すには至らず、第 2 四半期累計期間の売上高は予想を大きく下回ることとなりました。これは全体的に受注時期がずれ込む傾向にあること、前年度受注工事の着手に遅れがみられることなど、幾つかの原因が重なった結果であります。営業利益と経常利益についても減少いたしました。徹底した原価管理等により利益率が上がり、一定の水準は確保することができました。また、四半期純利益については投資有価証券評価損の計上と税金費用の増加により減少率が大きくなりました。

通期の連結業績の予想については第 2 四半期累計期間の実績を踏まえ、売上高の予想のみを修正いたします。

以上

(注)上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをお含みおきます。